

雇用と生活の維持安定に全力を

—2003年度業種別連絡会を開催—

電力総連は、1月22日(木)のポール・送配電線路部門を皮切りに、2月10日(火)までの間、電力総連会議室において業種別連絡会を順次開催しました。業種別連絡会は、10業種に分け組織しており、賃金、賞与・一時金をはじめとする労働諸条件やその業種に関わる政策課題・共通課題について情報交換および意見交換を目的に開催しています。この連絡会の中で、今次春季生活闘争に向けた取り組みについて、主査の皆さまに決意を述べていただきましたのでご紹介いたします。



(敬称略)

〈情報・通信部門〉

通信部門においては「急速な技術進歩に対応する為の莫大な設備投資」「総人件費の削減・抑制」「成果主義や業績連動型賃金制度」など、厳しさを増すとともに交渉内容も変化しています。また、労働時間の増加や労働密度が高くなってきており、組合として経営に対する知識を深め、「健康的で働き甲斐のある職場作り」を注視しながら春闘に臨みます。



主査：佐々木 功 ほくでん情報テクノロジー労組執行委員長（北海道総連）

〈環境・広告部門〉

今春季生活闘争は、組合員の雇用と生活の維持安定を図る重要な取り組みであり、明るい未来を切り開くためにも総力をあげてがんばっていきます。また、環境・広告部門は電力業界にとって必要不可欠な部分を担っていると考えており、我々が先頭に立ってこの時代を乗り越えて行きます。



主査：前田 幸一郎 電発環境緑化センター労組執行委員長（電発総連）

〈発電所保守部門〉

各組合が会社側と、企業・職場の現状等、将来を見据えて真剣に論議し、明日に向けた希望を求め、整然かつ一体となった交渉を進めていきます。また、労働組合としてのチェック機能をフルに発揮し、社会全体から信頼を回復できるように努力していきます。



主査：横田 善成 アトックス労組執行委員長（関東総連）

〈計器・電気機器部門〉

今春季生活闘争は、組合員とその家族が安心して生活を送ることができるよう、電力総連・業種別連絡会のネットワークを通じて取り組んでいきます。



主査：山本 和夫 中国計器工業労組執行委員長（中国地方総連）



〈ポール・送配電線路部門〉

私たちの部門は、企業の構造改革、雇用調整、再編といった大変厳しい環境下にあります。それ故に日常の取り組み状況や、これまでの経験等、様々な情報交換の密度を高めたいと思っています。



主査：森瀬 英二 大トー労組執行委員長（関西総連）

〈交通・運輸部門〉

今春季生活闘争は、雇用の確保と労働条件の維持改善、生活の安定に向け、全力で取り組むとともに、交通・運輸部門各単組との連携を密にしながら展開していきます。



主査：熊寄 弘 黒部峡谷鉄道労組執行委員長（関西総連）

〈設計・工事部門〉

「賃金カーブ確保」を最低限の要求内容として、その獲得を目指すため、産別、業種別連絡会、単組が互いに協力し連携を密にし、笑顔で安心して暮らせるような取り組みを行います。



主査：安部 丞 東日電気労組執行委員長（東北総連）

〈発電・燃料部門〉

今春季生活闘争は「経営実態や経営方針」「賃金のあり方や雇用の確保」等について労使協議の徹底を図るとともに、構成総連との緊密な連携のもと「賃金カーブ維持」の必要性と定昇相当分確保についてさらに一歩踏み込んだ交渉を展開します。



主査：板井 光典 大分共同火力労組執行委員長（九州総連）

〈サービス・一般部門〉

私たちを取り巻く諸課題解決には、多様なものの見方、様々な情報が力になると考えます。業種別連絡会を情報提供の場、共有の場とし、この難局面を皆さんと一緒に乗り越えて行きたいと思っています。



主査：小林 弘幸 原電ビジネスサービス労組執行委員長（原電総連）

〈不動産・ビル管理部門〉

電力自由化に伴うコスト削減、企業再編といった大きな問題がある厳しい年ではありますが、不動産・ビル管理部門一致団結してこの荒波を乗り越えていきたいと思っています。



主査：細田 義浩 関電産業労組執行委員長（関西総連）

